

小林・高原地域 循環型社会形成推進地域計画

宮崎県 小 林 市
高 原 町

策定 平成29年12月18日

変更 令和元年11月27日

目 次

1	地域の循環型社会形成を推進するための基本的な事項-----	1
(1)	対象地域-----	1
(2)	計画期間-----	1
(3)	基本的な方向-----	1
(4)	広域処理の検討状況-----	2
2	循環型社会形成推進のための現状と目標-----	3
(1)	生活排水処理の現状-----	3
(2)	生活排水処理の目標-----	4
3	施策の内容-----	6
(1)	発生抑制、再使用の推進（生活排水対策）-----	6
(2)	処理体制-----	7
(3)	処理施設の整備-----	7
(4)	施設整備に関する計画支援事業-----	8
(5)	その他の施策-----	8
4	計画のフォローアップと事後評価-----	8
(1)	計画のフォローアップ-----	8
(2)	事後評価及び計画の見直し-----	8
 【添付資料】		
添付資料 1	対象地域図及び現有処理施設の位置図-----	9
添付資料 2	現有処理施設の概要-----	10
 【様式】		
様式 1	循環型社会形成推進交付金事業実施計画 総括表 1（平成 29 年度）-----	11
添付資料 3	地域内の施設の現況と予定（位置図）-----	13
添付資料 4	指標と人口等の要因に関するトレンドグラフ-----	14
様式 2	循環型社会形成推進交付金事業実施計画総括表 2（平成 29 年度）-----	17
様式 3	地域の循環型社会形成推進のための施策一覧-----	18
 【参考資料】		
参考資料様式 4	-----	19
参考資料様式 5	-----	20
参考資料	-----	21

小林・高原地域 循環型社会形成推進地域計画

宮崎県 小 林 市

高 原 町

策定 平成29年12月18日

変更 令和元年11月27日

1 地域の循環型社会形成を推進するための基本的な事項

(1) 対象地域

市町村名：宮崎県小林市全域、高原町全域

面 積：648.34 k m²

人 口：56,092 人

地域指定：過疎地域自立特別措置法 33 条 2 項に基づく過疎地域（小林市）

過疎地域自立特別措置法 2 条 1 項に基づく過疎地域（高原町）

区 分 \ 市 町	小 林 市	高 原 町	合 計
面 積（k m ² ）	562.95	85.39	648.34
人 口（人）	46,681	9,411	56,092

（資料） 面積：「平成 28 年全国都道府県市区町村別面積調（平成 28 年 10 月 1 日時点）」 国土地理院

小林市・高原町人口：平成 28 年度末人口

(2) 計画期間

循環型社会形成推進地域計画（以下「本計画」という。）は、平成 30 年 4 月 1 日から令和 5 年 3 月 31 日までの 5 年間（平成 30～令和 4 年度）を計画期間とする。

なお、目標の達成状況や社会経済情勢の変化等を踏まえ、必要に応じて計画を見直すものとする。

(3) 基本的な方向

小林市及び高原町で構成される小林・高原地域（以下「当該地域」という。）は、南九州の中央部、宮崎県の南西部に位置し、北部は西米良村、熊本県多良木町、熊本県あさぎり町、東部は綾町、宮崎市、南部は都城市、鹿児島県霧島市、西部はえびの市と接している。本市の南西部には霧島連山が、北部には九州山地の山岳が連なり、緑豊かな森林や高原が開け、清らかな溪流美を誇る河川とその流域には優良農地が広がり、ジオサイト(地質遺産)や温泉、湖沼などの個性的な地域資源も多数有している。

この豊かな環境を守り、育て、将来に引き継ぐため、人と自然が共生する、より質の高い環境を創設し、積極的に環境への負荷の少ない循環型社会づくりに取り組み、現在の美しい自然が残り、きれいなおいしい水が維持された状態を目指している。

このため、当該地域の市街地には公共下水道の整備、農村部等の集落には農業集落排水処理施設の整備、それ以外の散在する家庭等においては合併処理浄化槽の設置を中心とした生活排水対策を推進し、公共用水域の水質保全に取り組んでいるところである。

一方、当該地域から排出されるし尿及び浄化槽汚泥は、小林市が管理・運営する KNT クリーンセンター（し尿処理施設）で処理している。

しかし、し尿のくみ取りや単独処理浄化槽の設置を行っている家庭の生活雑排水（日常生活に伴って排出される台所、洗濯、風呂などの排水）については未処理のまま公共用水域に排出されている地域がまだ多く残っており、河川等の水質汚濁が懸念されている状況である。

したがって今後、公共下水道、農業集落排水処理施設の未整備地域の整備及び供用開始区域内における接続率の向上や、それ以外の地域における合併処理浄化槽の更なる普及を進め、地域の水質環境保全に努めていく計画である。

しかしながら、当該地域においては、公共下水道や農業集落排水処理施設のように生活排水を集合処理できる地域は比較的狭い地域に限られており、当該地域全体でみると今後も合併処理浄化槽を中心とした生活排水処理に頼らざるを得ない状況である。

そのため、今後し尿量は減少するものの、浄化槽汚泥量は増加するものと予想されることから、全体としては微増傾向で推移する見通しである。よって、引き続き KNT クリーンセンター（し尿処理施設）での適正な処理が必要不可欠であるが、平成 13 年 4 月の施設稼働開始から 18 年を経過しており、施設の老朽化や浄化槽等の普及に伴う浄化槽汚泥混入率の増加等への対応が必要となっている。

この様な状況から、平成 28 年度に長寿命化計画を策定し、本施設の基幹改良工事（CO₂ 削減 3%以上）を平成 30～31 年度に行うことで、施設の長寿命化・延命化を図るとともに、CO₂排出量の削減により地球温暖化対策にも積極的に寄与できる施設への転換を図るものとする。

なお、KNT クリーンセンター（し尿処理施設）では、高原町のし尿及び浄化槽汚泥を今後も受託処理を続ける計画である。

生活排水処理については、公共用水域の水質保全を図るため、小林市では公共下水道の整備推進及び供用開始区域内における接続率の向上を図る。また、小林市では平成 25 年度より、高原町では平成 3 年度より、循環型社会形成推進交付金による合併処理浄化槽整備を行っており、引き続き合併処理浄化槽の整備も推進し、合併処理浄化槽の普及促進を図るものとする。

(4) 広域処理の検討状況

宮崎県では、「宮崎県ごみ処理広域化計画」(以下、「広域化計画」という。)を、旧厚生省の通知を受けて、平成 11 年 3 月に策定している。広域化計画では、県内を 7 ブロック（延岡・西臼杵、日向・入郷、西都・児湯、宮崎・東諸、西諸、日南・串間）3 グループ（県北、県央、県南）の広域ブロックに区割りし、① 環境負荷の低減（焼却施設の集約化、焼却残さの高度処理、管理型最終処分場の確保）、② 排出抑制・資源化（ブロック内での統一した分別収集の促進、リサイクルの推進）、③ 公共事業費の縮減（施設の集約化、効率的な収集運搬体制の確保）の 3 つの基本方針が定められている。

また、宮崎県廃棄物処理計画（第二期）においても、一般廃棄物のごみ処理広域化への県の支援強化及びごみ処理広域化計画の推進を掲げ、一般廃棄物の処理について市町村に助言等を行うとともに、廃棄物処理法の改正や新たなリサイクルの制度、他自治体での取組について情報提供に努め、また、第二期計画期間中に、延岡・西臼杵ブロックで焼却施設が供用開始されたほか、都城・北諸ブロックと日向・入郷ブロックで焼却施設が、都城・北諸ブロックと延岡・西臼杵ブロックで最終処分場の施設整備が行われている。

当該地域は、広域化計画では県南グループの西諸ブロックとして位置付けられており、小林市、えびの市、高原町、旧野尻町、旧須木村の 5 市町村で広域化を図ることが計画されているが、平成 18 年には小林市と須木村が合併、さらには平成 22 年に小林市と野尻町が合併し、現在の西諸ブロックは小林市、えびの市、高原町の 3 市町となっている。

その中で当該地域のごみ処理は、小林市清掃工場の焼却炉は平成 14 年 12 月から稼働を休止していることから、西諸ブロックではえびの市の焼却施設の 1 施設が稼働している状況である。なお、えびの市の焼却施設では、小林市の一部（旧小林市の一部、旧野尻町、旧須木村）及び高原町の可燃ごみの広域処理を実施している。

一方し尿処理については、西諸ブロックには当該地域とえびの市にし尿処理施設があり、前項で述べたとおり、KNT クリーンセンター（し尿処理施設）では高原町のし尿及び浄化槽汚泥を今後も受託処理を続ける計画である。

2 循環型社会形成推進のための現状と目標

(1) 生活排水処理の現状

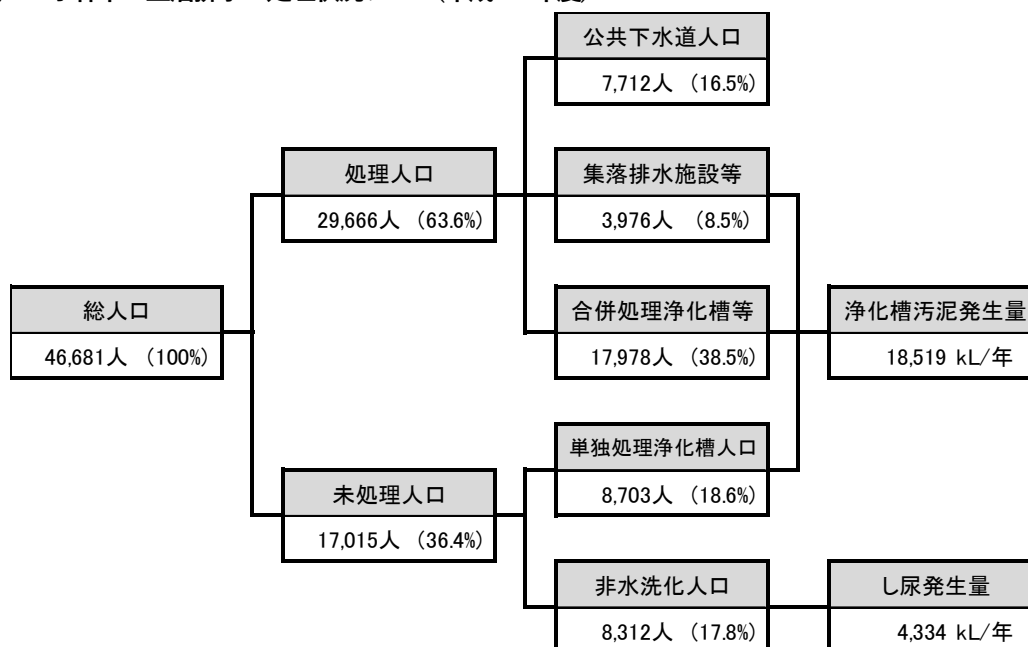
ア 小林市

平成28年度の生活排水の処理状況及びし尿・汚泥等の排出は、図表2のとおりである。

行政区域内人口46,681人のうち、汚水衛生処理人口は29,666人であり、汚水衛生処理率（＝（公共下水道＋農業集落排水処理施設＋合併処理浄化槽の各人口）÷（総人口））は63.6%である。

また、し尿発生量は4,334kℓ/年、浄化槽汚泥発生量（農業集落排水処理施設からの汚泥含む）は18,519kℓ/年であり、自家処理を除いた処理・処分量（＝収集・運搬量）は22,853kℓ/年である。

◆図表2 小林市の生活排水の処理状況フロー(平成28年度)



※ 端数処理のため合計値が100%にならない場合がある。

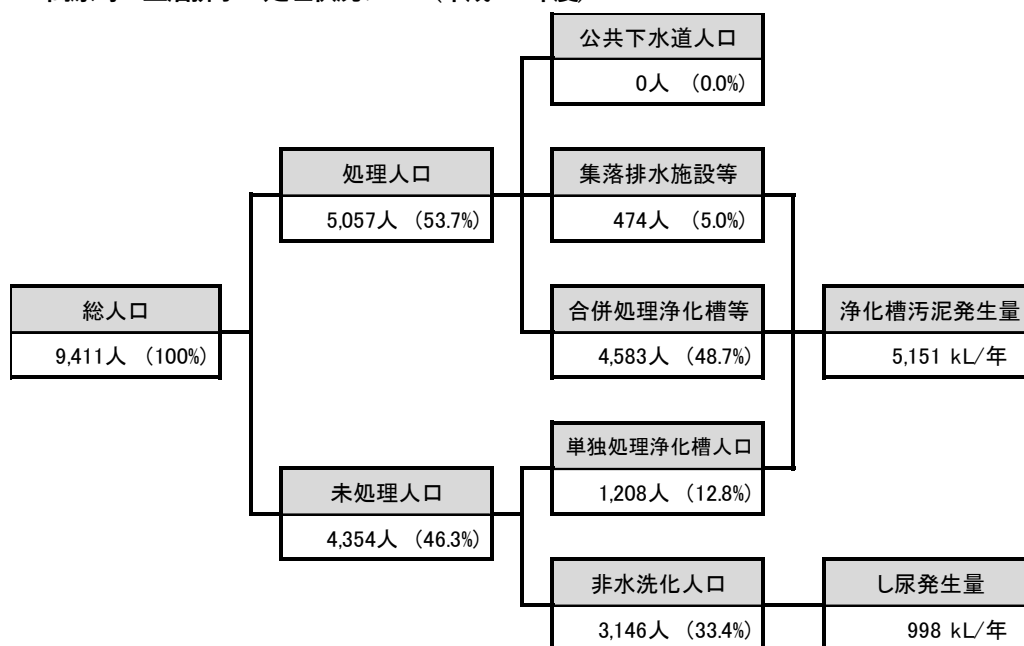
ア 高原町

平成28年度の生活排水の処理状況及びし尿・汚泥等の排出は、図表3のとおりである。

行政区域内人口9,411人のうち、汚水衛生処理人口は5,057人であり、汚水衛生処理率（＝（農業集落排水処理施設＋合併処理浄化槽の各人口）÷（総人口））は53.7%である。

また、し尿発生量は998kℓ/年、浄化槽汚泥発生量（農業集落排水処理施設からの汚泥含む）は5,151kℓ/年であり、自家処理を除いた処理・処分量（＝収集・運搬量）は6,149kℓ/年である。

◆図表3 高原町の生活排水の処理状況フロー(平成28年度)



※ 端数処理のため合計値が100%にならない場合がある。

(2) 生活排水処理の目標

ア 小林市

本計画の計画期間中においては、生活排水等の污水衛生処理率の向上を含め循環型社会の実現を目指し、次のとおり目標量について定め、それぞれの施策に取り組んでいくものとする。

令和4年度において、総人口43,900人のうち污水衛生処理人口32,825人、污水衛生処理率は74.8%を目標とする。

生活排水処理の目標は、図表4、5に掲げるとおり污水衛生処理率の向上を目指し、下水道、農業集落排水施設及び合併処理浄化槽の整備を進めるとともに、し尿処理施設の効率的な整備等を進めていくものとする。

◆図表4 小林市の生活排水処理に関する現状と目標

区 分		平成28年度 実績	令和4年度 目標
処理形態別人口	公共下水道人口	7,712 人 (16.5%)	9,262 人 (21.1%)
	集落排水施設等	3,976 人 (8.5%)	3,890 人 (8.9%)
	合併処理浄化槽等	17,978 人 (38.5%)	19,673 人 (44.8%)
	単独処理浄化槽人口	8,703 人 (18.6%)	6,382 人 (14.5%)
	非水洗化人口	8,312 人 (17.8%)	4,693 人 (10.7%)
	合 計	46,681 人 (100%)	43,900 人 (100%)
し尿・汚泥の量	し 尿 発 生 量	4,334 ｷﾛﾘｯﾄﾙ	2,227 ｷﾛﾘｯﾄﾙ
	浄化槽汚泥発生量	18,519 ｷﾛﾘｯﾄﾙ	18,944 ｷﾛﾘｯﾄﾙ
	合 計	22,853 ｷﾛﾘｯﾄﾙ	21,171 ｷﾛﾘｯﾄﾙ

※ 端数処理のため合計値が100%にならない場合がある。

◆図表5 小林市の目標達成時の生活排水の処理状況フロー(令和4年度)



※ 端数処理のため合計値が100%にならない場合がある。

イ 高原町

本計画の計画期間中においては、生活排水等の污水衛生処理率の向上を含め循環型社会の実現を目指し、次のとおり目標量について定め、それぞれの施策に取り組んでいくものとする。

令和2年度において、総人口8,980人のうち污水衛生処理人口5,294人、污水衛生処理率は59.0%を目標とする。

生活排水処理の目標は、図表6、7に掲げるとおり污水衛生処理率の向上を目指し、農業集落排水施設及び合併処理浄化槽の整備を進めるものとする。

◆図表6 高原町の生活排水処理に関する現状と目標

区 分		平成28年度 実績	令和2年度 目標
処理形態別人口	公共下水道人口	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)
	集落排水施設等	474人 (5.0%)	554人 (6.2%)
	合併処理浄化槽等	4,583人 (48.7%)	4,740人 (52.8%)
	単独処理浄化槽人口	1,208人 (12.8%)	1,165人 (13.0%)
	非水洗化人口	3,146人 (33.4%)	2,521人 (28.1%)
	合 計	9,411人 (100%)	8,980人 (100%)
し尿・汚泥の量	し尿発生量	998 ㌔リットル	1,527 ㌔リットル
	浄化槽汚泥発生量	5,151 ㌔リットル	3,625 ㌔リットル
	合 計	6,149 ㌔リットル	5,152 ㌔リットル

※ 端数処理のため合計値が100%にならない場合がある。

◆図表 7 高原町の目標達成時の生活排水の処理状況フロー(令和2年度)



※ 端数処理のため合計値が100%にならない場合がある。

3 施策の内容

(1) 発生抑制、再使用の推進（生活排水対策）

ア 小林市

小林市では、以下の施策を展開することにより、発生抑制及び再使用の推進を図っていくものとする。

(ア) 公共下水道事集への接続率を向上

公共下水道及び農業集落排水の事業区域内にある全ての一般家庭や事業所については、公共下水道へ接続するように啓発・指導を行う。

(イ) 合併処理浄化槽の普及

公共下水道事業及び農業集落排水事業区域外の地域においては、合併処理浄化槽の整備事業を更に普及させていくものとし、啓発・指導を行う。

イ 高原町

高原町では、以下の施策を展開することにより、発生抑制及び再使用の推進を図っていくものとする。

(ア) 町民と一体となった啓発活動の推進

町民と一体となった啓発活動は、現在、実施している活動を継続・充実させながら、新しい取り組みについては、実施可能なものから推進していく。

(イ) 合併処理浄化槽の普及

農業集落排水事業区域外の地域においては、合併処理浄化槽の整備事業を更に普及させていくものとし、啓発・指導を行う。

(2) 処理体制

ア 生活排水処理の現状と今後

市街化区域における公共下水道の計画的な整備を推進し、農業振興地域における農業集落排水施設の計画的な整備を推進する。また、公共下水道認可区域及び農業集落排水処理区域以外の地域では合併処理浄化槽の計画的な整備を推進する。

一方、し尿及び浄化槽汚泥（農業集落排水施設からの汚泥を含む）については、本施設で処理を行っており、施設の処理工程から発生する汚泥は、再生処理できる民間業者にて堆肥化している。今後も、発生汚泥を資源化（堆肥）し、有機性資源の有効利用を継続する。

また、平成 28 年度に長寿命化計画を策定し、施設の長寿命化・延命化及び CO₂ 排出量の削減を図るため、KNT クリーンセンター（し尿処理施設）の基幹的設備改良を実施する。

イ 今後の処理体制の要点

- ◇ 市街化区域における公共下水道の計画的な整備を推進し、さらに農業振興地域における農業集落排水施設の計画的な整備を推進する。
- ◇ 公共下水道認可区域及び農業集落排水処理区域以外の地域では合併処理浄化槽の計画的な整備を推進する。
- ◇ 小林市及び高原町とも、し尿及び浄化槽汚泥はし尿処理施設（KNT クリーンセンター）で継続して処理を行う。よって、基幹的設備改良を実施することにより、施設の延命化と CO₂ 排出量の削減を推進する。

(3) 処理施設の整備

ア 廃棄物処理施設

上記（2）の処理体制で処理を行うため、図表 8 のとおり必要な施設整備を行う。

◆図表 8 整備する施設の表

事業番号	施設整備種類	事業名	処理能力	設置予定地	事業期間
1	し尿処理施設	（仮称）小林市 KNT クリーンセンター基幹設備改良工事	88kℓ/日	宮崎県小林市東方 1066 番地 2	平成 31 年度～令和 2 年度

〔整備理由〕 事業番号 1 施設の長寿命化・延命化、地球温暖化対策

イ 合併処理浄化槽の整備

合併処理浄化槽の整備については、図表 9 のとおり行う。

◆図表 9 合併処理浄化槽への移行計画

事業 番号	事業名	実施主体	直近の整備済基数	整備計画基数	整備計画人口	事業期間
			(平成 28 年度)			
2	浄化槽設置整備事業	小林市	146 基	1,201 基	6,295 人	H30～R4
		高原町	70 基	350 基	1,835 人	H30～R 4
合 計			216 基	1,551 基	8,130 人	－

(4) 施設整備に関する計画支援事業

前述の(3)アの施設整備に先立ち、図表10とおり計画支援事業を行う。

◆図表10 実施する計画支援事業

事業番号	事業名	事業内容	事業期間
3	小林市 KNT クリーンセンター基幹設備改良工事に係る工事発注支援等業務	基幹的設備改良工事の詳細仕様を検討し、見積設計図書評価・発注仕様書作成及び工事発注支援業務を行う。	平成30年度

(5) その他の施策

その他、本市で循環型社会を形成する上で、次の施策を実施していく。

ア 汚泥の有効利用

施設で発生する汚泥を脱水し、再生処理（堆肥化）できる民間業者にて堆肥化することにより有機性資源の有効利用を継続する。

イ 災害時の廃棄物処理に関する事項

「宮崎県災害廃棄物処理計画(Ver.1)」を踏まえ、災害時に発生する廃棄物の広域的処理体制の確保を図るため、地域内及び周辺自治体との連携体制を構築する。また、日頃から災害時における被害状況の情報収集とその連絡体制及び責任分担等について十分な協議を進めていく。

ウ 合併処理浄化槽への転換促進

単独処理浄化槽の設置者に対し、広報、チラシ、パンフレット等を作成、配布して、合併処理浄化槽への転換を促進する。

エ し尿・浄化槽汚泥収集量の平準化

し尿・浄化槽汚泥処理量の月変動を可能な限り抑制するため、収集業者に対し計画的に収集を行うよう指導する。

4 計画のフォローアップと事後評価

(1) 計画のフォローアップ

本市では、毎年、計画の進捗状況を把握し、その結果を公表するとともに、必要に応じて、宮崎県及び国と意見交換しつつ、計画の進捗状況を勘案し、計画の見直しを行う。

(2) 事後評価及び計画の見直し

計画期間終了後、処理状況の把握を行い、その結果がとりまとめられる状況となった時点で、速やかに計画の事後評価、目標達成状況の評価を行う。

また、評価の結果を公表するとともに、評価結果を次期計画策定に反映させるものとする。

なお、計画の進捗状況や社会経済情勢の変化等を踏まえ、必要に応じて計画を見直すものとする。

【 循環型社会形成推進地域計画添付書類一覧 】

- ・ 添付資料 1 対象地域図
- ・ 添付資料 2 現有処理施設の概要

◎ 様式 1 循環型社会形成推進交付金事業実施計画総括表 1

- ・ 添付資料 3 地域内の施設の現況と予定（位置図）
- ・ 添付資料 4 指標と人口等の要因に関するトレンドグラフ

◎ 様式 2 循環型社会形成推進交付金事業実施計画総括表 2

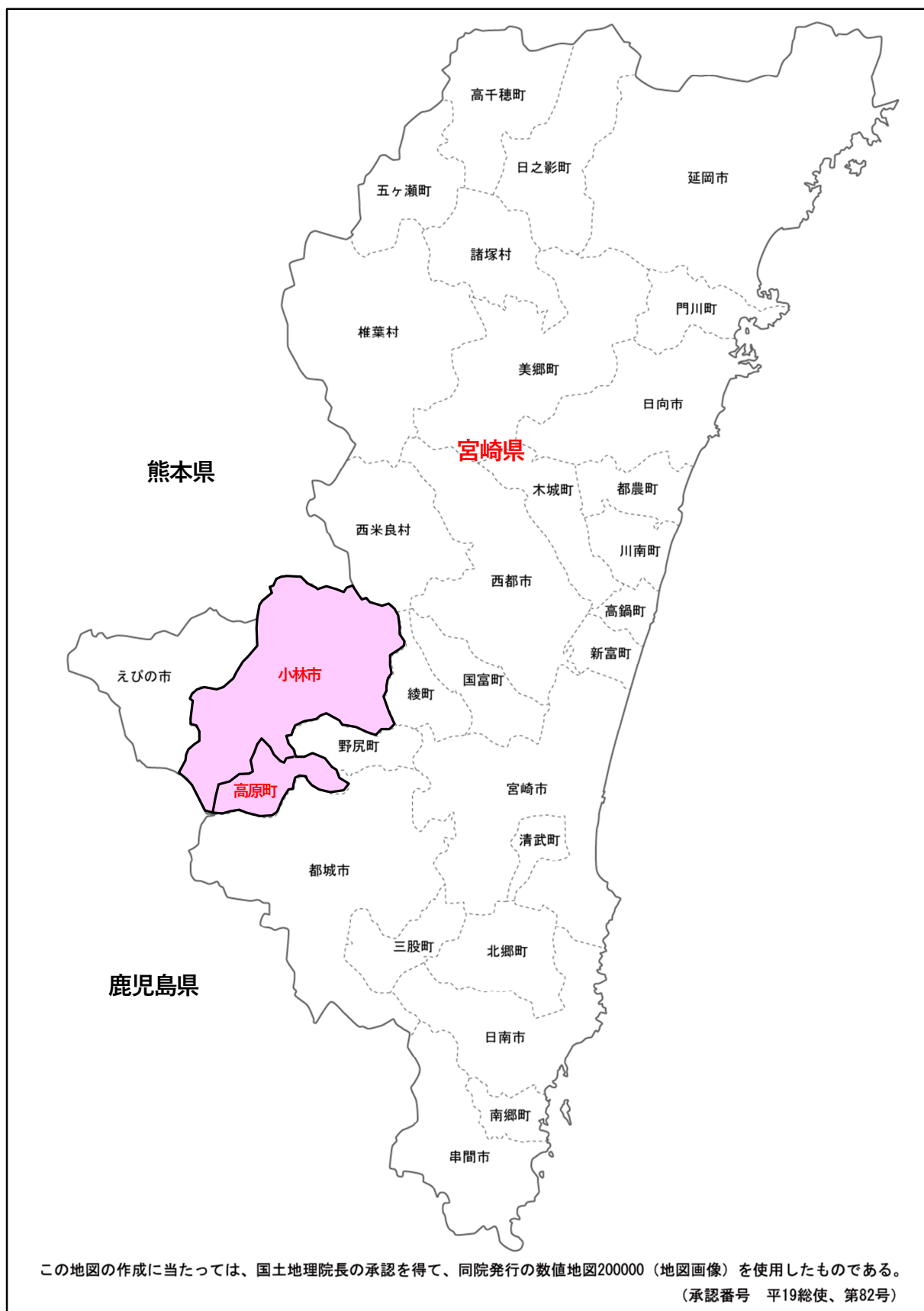
◎ 様式 3 地域の循環型社会形成推進に向けた施策の一覧

◎ その他参考資料

- ・ 参考資料様式 4 施設概要（し尿処理施設系）
- ・ 参考資料様式 5 計画支援概要

添付資料 1 対象地域図及び現有処理施設の位置図

◆図表 1－1 対象地域図



添付資料2 現有処理施設の概要

施 設 名	所 在 地	施設種別	処理対象廃棄物	型式及び処理方式	処理能力	稼働開始	備 考
小林市 KNT クリーンセンター	宮 崎 県 小 林 市 東 方 1066 番地 2	し尿処理施設	し尿・浄化槽汚泥	膜分離高負荷脱窒素処理方式 + 高度処理	88k ℓ / 日	平成 11 年 3 月	
小林市清掃工場	宮 崎 県 小 林 市 東 方 1046	ごみ焼却施設	可燃ごみ	ストーカ式（可動）	40t/日	昭和 55 年 4 月	休止
小林市第 2 ストックヤード	宮 崎 県 小 林 市 東 方 1046	ストックヤード	その他資源ごみ, ペットボトル	圧縮・梱包	1.5t/日	平成 12 年 4 月	
小林市容器包装中間処理施設	宮 崎 県 小 林 市 東 方 1046	容器包装リサイ クル推進施設	プラスチック	圧縮・梱包	9t/日	平成 16 年 4 月	
小林市一般廃棄物最終処分場	宮 崎 県 小 林 市 東 方 1079-13	最終処分場	不燃ごみ	準好気性埋立構造	247,400 m ³	平成 3 年 4 月	

様式1 循環型社会形成推進交付金事業実施計画 総括表1（平成29年度）

1 地域の概要

(1)地域名	小林・高原地域	(2)地域内人口	56,092 人	(3)地域面積	648.34 k m ²
(4)構成市町村等名	小林市、高原町	人口	面積	沖縄 離島 奄美 豪雪 山村 半島	過疎 その他
(5)構成市町村に一部事務組合等が含まれる場合、当該組合の状況					
①組合を構成する市町村：	②設立（予定）年月日：昭和 年 月 日設立 設立（予定）年月日：昭和 年 月 日設立				
③設立されていない場合、今後の見通し：－					

2 一般廃棄物処理施設の現況と更新、廃止、新設の予定

施設種別	事業主体	現 有 施 設 の 内 容				更新、廃止、新設の内容				備 考
		型式及び処理方式	補助の有無	処理能力(kℓ/日)	開始年月	更新、廃止 予定年月	型式及び処理方式	施設竣工 予定年月	処理能力(kℓ/日)	
し尿処理施設	小林市	膜分離高負荷脱窒素処理 + 高度処理	有	88	H11.3	R3.3	膜分離高負荷脱窒素処理 + 高度処理	R 3.3	88	基幹的設備改良 事業

3 生活排水処理の現状と目標

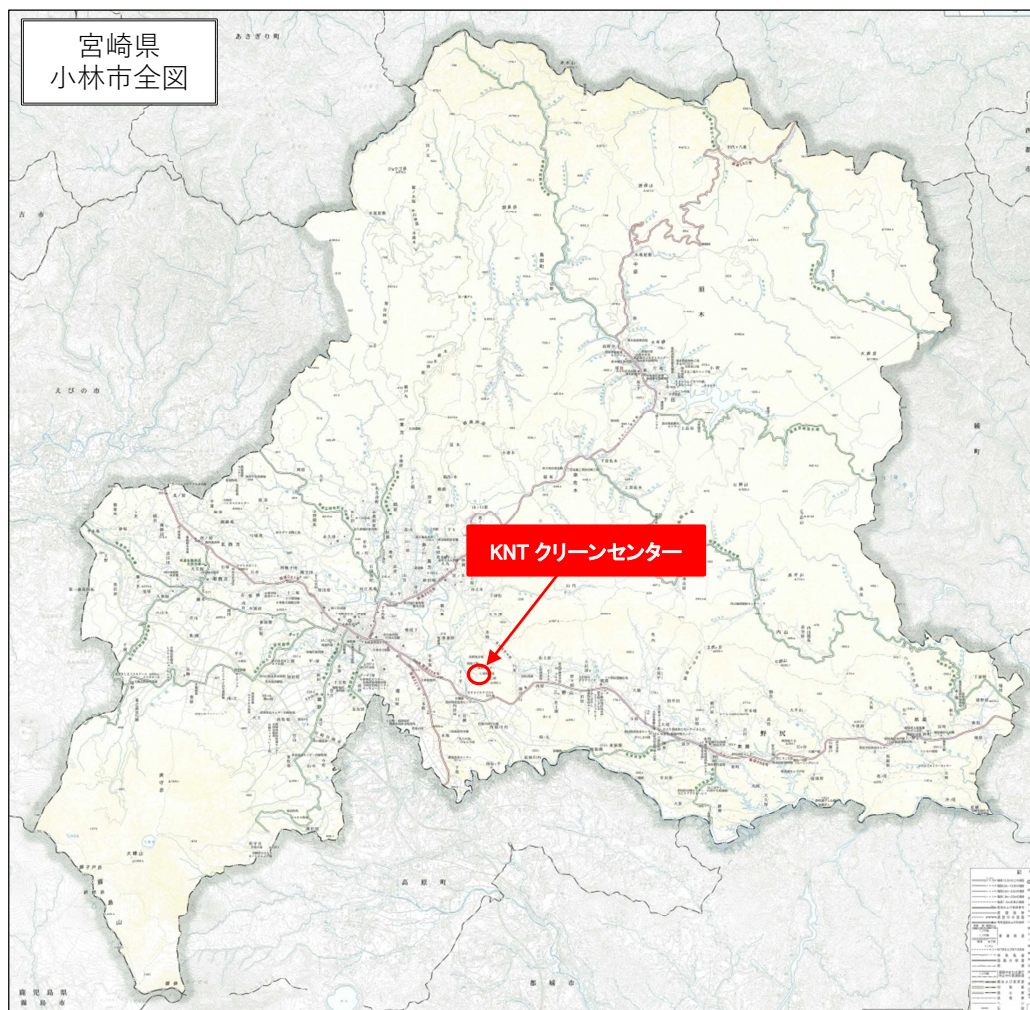
指標・単位		過去の状況・現状						目標
		平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度 (見込み)	令和 4 年度
総人口								
公共下水道	汚水衛生処理人口 汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率							
集落排水施設等	汚水衛生処理人口 汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率							
合併処理浄化槽等	汚水衛生処理人口 汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率							
未処理人口	汚水衛生未処理人口							

4 浄化槽の整備の状況と更新、廃止、新設の予定

施設種別	事業主体	現有施設の内容			更新、廃止、新設の内容			備考
		基数	処理人口	開始年度	基数	処理人口	目標年度	
浄化槽設置整備事業								

添付資料 3 地域内の施設の現況と予定（位置図）

◆図表 1 - 2 現有処理施設の位置図



添付資料4 指標と人口等の要因に関するトレンドグラフ

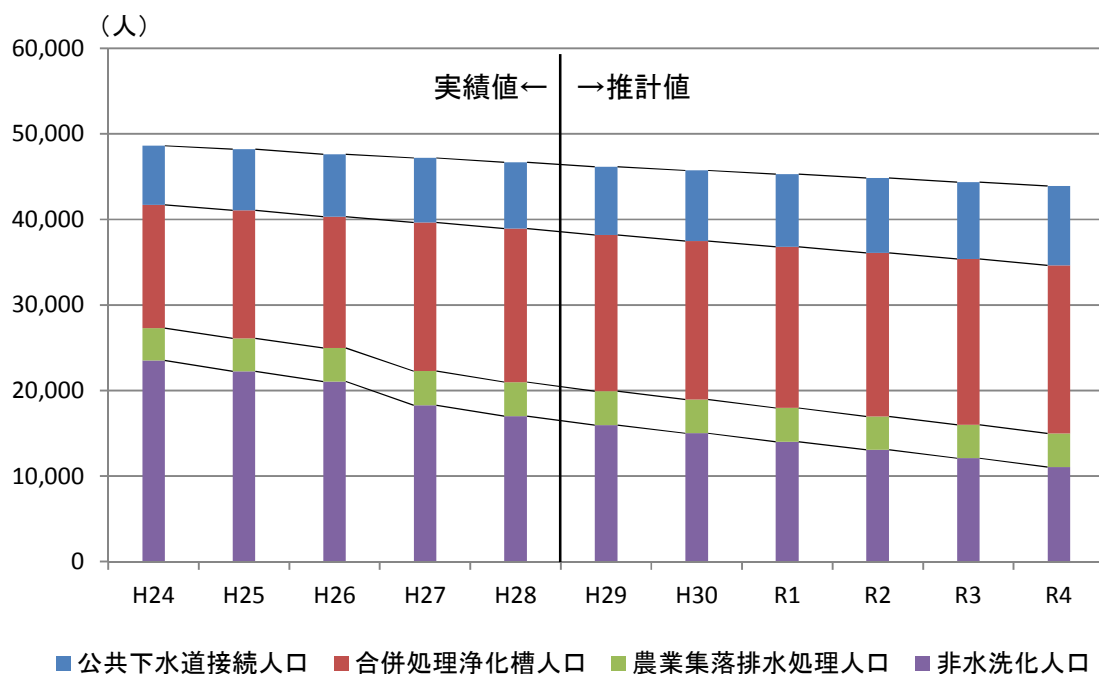
生活排水処理に関する目標等（小林市）

◆図表 2-1 汚水処理人口推計

項 目		平成28年 【実績】	令和4年 【推計】
計画処理区域内人口	[人]	46,681	43,900
汚水処理人口	[人]	29,666	32,825
公共下水道人口	[人]	7,712	9,262
合併処理浄化槽人口	[人]	21,954	23,563
汚水処理人口普及率	[%]	63.6	74.8

※合併処理浄化槽人口には、農業集落排水施設人口も含む。

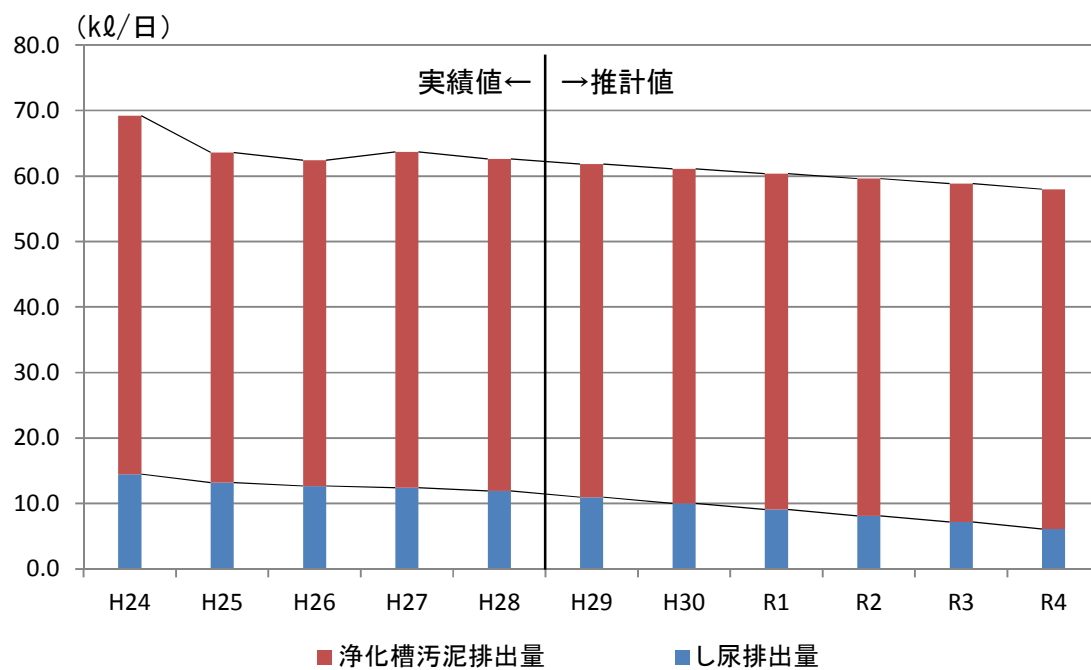
◆図表 2-2 生活排水処理人口推計



◆図表 2-3 し尿及び浄化槽汚泥排出量見込み 1

	単位	平成28年 【実績】	目標年度 令和 4 年 【推計】
し尿排出量	kℓ/日	11.9	6.1
浄化槽汚泥排出量	kℓ/日	50.7	51.9

◆図表 2-4 し尿及び浄化槽汚泥排出量見込み 2



生活排水処理に関する目標等（高原町）

◆図表 2-5 流域別生活排水処理人口

単位：人、％

区 分	高崎川流域		辻の堂川流域		炭床川流域		岩瀬川流域		合 計	
	平成21 年度	令和2 年度	平成21 年度	令和2 年度	平成21 年度	令和2 年度	平成21 年度	令和2 年度	平成21 年度	令和2 年度
計画処理区域内人口	6,801	5,743	2,310	1,951	1,434	1,211	89	75	10,634	8,980
水洗化・生活排水処理人口	2,755	3,300	1,128	1,387	422	564	36	43	4,341	5,294
(1)下水道	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(2)コミュニティプラント	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(3)合併処理浄化槽	2,755	3,300	682	833	422	564	36	43	3,895	4,740
(4)農業集落排水	0	0	446	554	0	0	0	0	446	554
(5)漁業集落排水	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
水洗化・生活排水未処理人口 （単独処理浄化槽）	1,180	629	561	300	341	209	38	27	2,120	1,165
非水洗化人口	2,866	1,814	621	264	671	438	15	5	4,173	2,521
農地還元	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計画処理区域外人口	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
生活排水処理率	40.5	57.5	48.8	71.1	29.4	46.6	40.4	57.3	40.8	59.0

注）詳細は参考資料参照

◆図表 2-6 令和2年度のし尿等排出状況

単位：人、kℓ/日、ℓ/人・日

区 分	高原町		小林市		合計		1人1 日当 り排出
	収集人口	排出量	収集人口	排出量	収集人口	排出量	
汲み取りし尿	2,521	4.2	15,931	26.4	18,452	30.6	1.66
単独処理浄化槽汚泥	1,165	1.3	8,270	9.3	9,435	10.6	1.12
合併処理浄化槽汚泥	4,740	8.6	10,915	19.9	15,655	28.5	1.82
合 計	8,426	14.1	35,116	55.6	43,542	69.7	

注）1人1日当たりの排出量は、「宮崎県廃棄物処理計画」の予測値

様式2 循環型社会形成推進交付金事業実施計画総括表2（平成29年度）

事業種別	事業 番号	事業主体	規 模		事業期間			総事業費（千円）						交付対象事業費（千円）					備 考
			単位	開始	終了			H30	R1	R2	R3	R4			H30	R1	R2	R3	
○廃棄物処理施設の基幹的設備改良事業	-	-	-	-	-	-	574,538	0	79,380	495,158	0	0	483,140	0	79,380	403,760	0	0	
（仮称）小林地KNTクリーンセンター基幹設備改良工事	1	小林地 高原町	88	kℓ/日	H31	H32	574,538	0	79,380	495,158	0	0	483,140	0	79,380	403,760	0	0	
○施設整備に関する計画支援事業	-	-	-	-	-	-	10,044	10,044	0	0	0	0	10,044	10,044	0	0	0	0	
基幹的設備改良工事発注支援等業務	2	小林地 高原町	-	-	H30	H30	10,044	10,044	0	0	0	0	10,044	10,044	0	0	0	0	
合 計							584,582	10,044	79,380	495,158	0	0	493,184	10,044	79,380	403,760	0	0	

様式3 地域の循環型社会形成推進のための施策一覧

施策種別	事業番号	施策の名称等	施策の概要	実施主体	事業期間		交付金 必要の 要否	事業計画					備考	
					開始	終了		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度		
発生抑制、再使用の推進に関するもの	11	生活排水対策	合併処理浄化槽の整備普及に係る啓発活動（転換施策等）、広報活動の実施、排出抑制用品の普及、適正な洗剤使用の啓発活動を強化していく。	小林市 高原町	H30	R4		普及啓発活動の推進						
処理施設の整備に関するもの	1	基幹的設備改良事業	長寿命化・延命化及びCO ₂ の排出削減を目指した基幹的設備改良工事、設計・施工監理	小林市	H31	R2	○	基幹的設備改良工事						
	2	浄化槽設置整備事業	合併処理浄化槽の整備											
施設整備に係る計画支援に関するもの	3	1の計画支援	施設整備基本設計及び発注支援業務	小林市 高原町	H30	H30	○	施設整備基本設計及び発注支援業務						関連事業1
その他	41	汚泥の有効利用方法の検討	汚泥の堆肥化に代わる有効利用方法について検討を進める	小林市 高原町	H30	R4		有効利用方法の検討						
	42	災害時の廃棄物処理体制の整備	災害時に発生する廃棄物の広域的処理体制の整備	小林市 高原町	H30	R4		体制整備に向けた協議						

施設概要（し尿処理施設系）

都道府県名：宮崎県

(1) 事業主体名	小林市
(2) 施設名称	小林市KNTクリーンセンター
(3) 工 期	平成31年度 ～ 令和2年度
(4) 施設規模	処理能力：88 kℓ/日
(5) 処理方式	膜分離高負荷脱窒素処理＋高度処理
(6) 地域計画内の役割	施設の長寿命化・延命化、CO ₂ の排出削減
(7) 廃焼却施設解体 工事の有無	有 ☐ 無 ☒

「汚泥再生処理センター」を整備する場合

(8) 資源化の方法	
(9) 資源化物の利用計画	

「コミュニティ・プラント」を整備する場合

(10) 計画処理人口及び面積	人口 人 面積 m ²
(11) 資源化物の利用計画	

(12) 事業計画額	574,452 千円
------------	------------

計画支援概要

(1) 事業主体名	小林市
(2) 事業目的	し尿処理施設の基幹的設備改良事業のため
(3) 事業名称	小林市 KNT クリーンセンター基幹設備改良工事に係る工事発注支援等業務
(4) 事業期間	平成 30 年度
(5) 事業概要	・施設整備基本設計 ・発注支援業務
(6) 事業計画額	11,664 千円

参考資料

◆図表 1 現有処理施設の概要

施 設 名		小林市KNTクリーンセンター		
施 設 所 管		小林市		
施 設 所 在 地		〒886－0001 宮崎県小林市東方1066番地2 (TEL) 0984-23-7292 (FAX) 0984-23-7292		
計 画 処 理 能 力		88kℓ/日（し尿：42kℓ/日、浄化槽汚泥：46kℓ/日）		
建設経過	着 工	平成 8年 7月	設計・施工：浅野工事株式会社	
	竣 工	平成11年 3月		
	増改造等	平成26年度：汚泥焼却設備解体撤去、搬出設備等の改造整備		
処理方式		膜分離高負荷脱窒素処理方式＋高度処理		
	受入・貯留	細目スクリーン＋スクリュープレス（脱水し渣は場外搬出）		
	主 処 理	膜分離高負荷脱窒素処理方式		
	高 度 処 理	膜分離＋活性炭吸着処理		
	消毒・放流	次亜塩素酸ナトリウム注入		
	汚 泥 処 理	余剰汚泥→濃縮スクリーン＋脱水（脱水汚泥は場外搬出） 凝集汚泥→原水槽へ移送		
	脱 臭	高濃度臭気→生物脱臭後、中濃度臭気系統へ 中濃度臭気→酸・アルカリ洗浄脱臭＋活性炭吸着脱臭 低濃度臭気→活性炭吸着脱臭		
プ ロ セ ス 用 水 の 種 類		井戸水		
放 流 水 質		保証値	廃棄物処理法	水質汚濁防止法※1
pH		5.8～8.6	－	5.8～8.6
BOD mg/ℓ		10以下	20以下	－
COD mg/ℓ		10以下	－	120(160)以下
SS mg/ℓ		10以下	70以下	150(200)以下
T-N mg/ℓ		10以下	－	60(120)以下
窒素合計※2 mg/ℓ		－	－	100※1以下
T-P mg/ℓ		1以下	－	8(16)以下
色度 度		20以下	－	－
大腸菌群数 個/cm ³		1,000以下	3,000以下	3,000以下
n-Hex(鉱油類) mg/ℓ		5以下	－	5以下
n-Hex(動植物類) mg/ℓ		30以下	－	30以下
放 流 先		岩瀬川		

()内は最大値

※1) 水質汚濁防止法第三条第三項の規定に基づく排水基準を定める条例

※2) $\text{NO}_2\text{-N} + \text{NO}_3\text{-N} + (\text{NH}_4\text{-N} \times 0.4)$ の合計